



県病医療ニュース

〒870-8511 大分市大字豊饒476番地 TEL097-546-7111(代表)

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ホームページまたは、1階中央待合ホール備付けのアンケート用紙をご利用ください。

婦人科

婦人科悪性疾患における 近年の腹腔鏡手術の動向

腹腔鏡手術は、腹部に5～15mmほどの穴を4、5箇所あけて内視鏡カメラを挿入し、モニターを見ながら行う手術です。手の代わりに鉗子という器械を使い、より細やかな手術を行うことができます。

腹腔鏡手術で用いられる鉗子▶



婦人科では、元来良性腫瘍において整容性と術後創痛の軽減から多くの施設で腹腔鏡手術が行われてきました。婦人科悪性腫瘍においては、入院期間の短縮、出血量の軽減、社会復帰までの時間短縮だけでなく、拡大能、深部到達能の点から導入が期待されましたが、長い間保険適応になっていませんでした。

2014年4月より腹腔鏡手術が早期子宮体癌に対して保険適応となり、それ以降、腹腔鏡手術が標準術式の一つとして確立されることとなりました。

しかし、根治性を損なわず安全かつ確実に腹腔鏡手術を行うためには、婦人科悪性腫瘍に対する十分な知識とトレーニングが必要不可欠です。また、保険診療を行うためには厚生労働省による腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の施設基準を満たす認定が必要です。



開腹手術の創



腹腔鏡手術の創

当院も施設認定を取得しており、安全に手術を受けることが可能になっています。

また、2018年4月より子宮頸癌に対する腹腔鏡下広汎子宮全摘出術が保険適応となり、これから標準術式の一つとして確立されてくると考えられます。

(産婦人科 副部長 竹内 正久)



医療安全
管理室

患者さん本人確認に ご協力ください

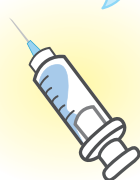
大分県立病院では、安全で安心できる医療の提供に努めています。患者さんの本人確認（患者確認）は、安全に医療を提供する第1歩です。当院に受診される患者さんの中には、同じ名字や同じ名前、似た名前の方がたくさんいらっしゃいます。患者間違いは大きな事故に繋がる危険性があるため、患者間違いを防ぐためにいろんな場面で患者確認をさせていただいています。

患者確認の場面の例

診察の時



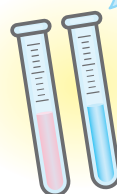
注射の時



薬を受け取る時



検査の時



手術の時



患者確認の際には、患者さんご自身にお名前（フルネーム）と生年月日を名乗っていただきます。こちらからお名前を呼んだだけでは、聞き間違いや思い込みなどで違う名前と呼ばれても、「はい」と返事をしてしまうことがあるためです。処置ごとに何度もお名前を名乗っていただくこともあります。

他にも、患者確認の方法のひとつとして、入院患者さんにはリストバンドを装着していただいています。

患者確認の際は、患者さんご自身 に名乗っていただきます

名前は県病太郎、
生年月日は 昭和11年
11月11日です



リストバンドは注射や輸血などの際も
確認のため使用させていただきます。



医療は医療者と患者さんの協同作業です。安全に医療を行うためには患者さんの協力は不可欠です。何度もお名前や生年月日を確認させていただくと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

（医療安全管理室 田野 幸代）